



# 生保内中学校報

令和2年  
3月13日(金)

No. 16

<卒業式特集号>

## 蒼天学年27名 希望を胸に抱き 巣立つ!

3月8日(日)、生保内中学校第16期生「蒼天学年」の『卒業証書授与式』を行いました。

当初、新型コロナウイルス拡大防止対策として市からの要請を受け、卒業生と職員だけで行うことを想定し実施日を変更することにしていたのですが、安全・予防対策が十分に取れるような状況になったということもあり、多くの保護者の方々に参加していただくことを見越して日時を再度変更して実施しました。

当日は春を思わせる好天にも恵まれ、卒業生にとっても保護者の方々にとも思い出に残る『卒業式』になったのではないかと感じています。日程に関して二転三転したにもかかわらず、保護者の皆さまは、ご理解・ご協力いただき大変ありがとうございました。

当日は、残念ながら在校生は参加することができませんでしたので、今号を<卒業式特集号>として、その一端を紹介させていただきます。

### 【教室～入場～卒業証書授与】

卒業証書を受け取る卒業生の表情はやや緊張気味でしたが、卒業生一人一人から、希望と夢の実現に向かう決意が感じられました。



アルバムで懐かしい姿を確認



緊張した表情で入場①



緊張した表情で入場②



緊張した表情で入場③



緊張した表情で入場④



担任による氏名点呼



卒業証書授与



卒業証書を手にして

### 【式辞～答辞～最後の学活】

在校生を代表して卒業式に参加した現生徒会長のI.Yさんが「蒼天学年の皆さんは少ない人数ながらも強い絆で固く結ばれ、生保内中学校をリードし、手本を見せてくださった」「進路が違ってそれぞれがこの経験を生かし、自分の道を切り拓いていってください。私たちは皆さんが見せてくれた姿を忘れず、よりよい生保内中学校を築き上げて行きたいと思います」と【送辞】を述べました。

これを受けて前生徒会長の新田目真弥さんが「生保内中学校の良き伝統を引き継ぎつつも前例にとられない大胆な改革でよりよい学校を作っていくほしい」と1、2年生を激励するとともに「周りの方々の支えがあり安心して生活を送りたくさんの経験を積むことが出来た。」「この仲間がいなければ、ここまで成長することができなかった」と家族や友人を始めとする支えてくれた全ての人に感謝の気持ちを【答辞】で述べました。

卒業式終了後、教室で最後の学活を行い、担任から最後のメッセージが伝えられ、涙を見せる卒業生もありました。その後は、玄関前で、職員から歌とエールが送られ、保護者の方々に見守られて学び舎を後にしました。蒼天学年27名の前途に幸多きことを祈っています。



「送辞」を述べるIさん



「答辞」を述べるAさん



「校歌」を伴奏するTさん



最後の学活を終えて